

子供達が親と楽しい
想い出を作れるはずの
夏休み、だが記録的な
長雨や冷涼な天候で自
然を売り物にした観光
地や海水浴場など水辺

フィールド風

(現場)からの風

宮田 守男

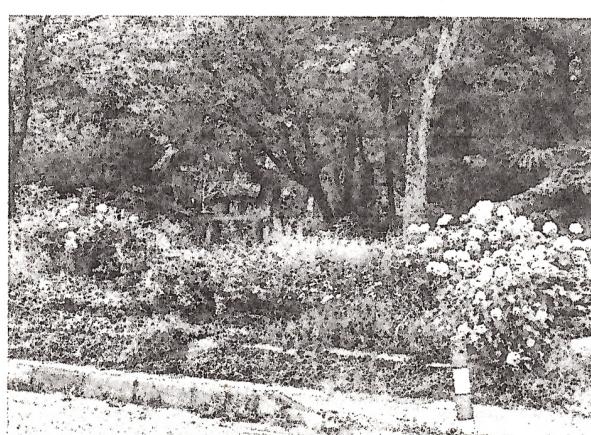
250

を楽しむ訪問者が激減。大北地域の山岳へ影響も同様だ。これに加えて高校山岳部の講習会で大きな遭難事案が出た事で、学校行事やサークル活動での集団による海水浴やキャンプ、登山行事を敬遠する事案が多く聞こえてくる。特に山

岳関係では、集団登山は、限られた山小屋の収容施設をフル稼働させる優良な顧客。この傾向が続けば山小屋経営の存続に不安との声が聞こえてくる。自然を売りにした大北地域の観光施策、地

道な取組みでは無く、イベントに期待する取り組みに疑問の声が聞こえてくる。大切なことは、イベントが繰り広げられる自然舞台をどう的に創り上げるかだ。将来の観光産業の大切な顧客を確保する

新たに有名ブランドのスポーツショップ開店の情報。白馬に店舗がある事に対する価値観が認められているのだろうか。白馬エリアに集積した複数の店舗資源を活用する知恵が求められている。斯ることも事実だ。環境整備にも、訪れる人にに対するマーケティング戦略視点が



「白馬みそら野区」入口の自然と調和した植栽に、地域住民の求める想いが伝わってくる

えのある花木は無いのか。その花木を低成本で地域に提供する知恵は無いのか。地域ごとに特色ある花木で創造できないのか。夢を語りながら、種採取や

地域社会フォーラム理事・白馬村森上)

挿し木での苗づくりを地域全体で展開し、自慢できる故郷になつてほしいと願っている。

(NPO法人信州地

が花木の植栽に取り組まれている。関係者の熱意にはいつも驚かされる。しかし多くは、「底」での取り組みで訪れる人には大きな感動を伝えられない

里山各地で地域住民が花木の植栽に取り組まれている。関係者の熱意にはいつも驚かされる。しかし多くは、「底」での取り組みで訪れる人には大きな感動を伝えられない

ことも事実だ。環境整備にも、訪れる人に対するマーケティング戦略視点が

必不可少。いつ誰に見せるのか。そのためには選定する花木は何なのか。ます7月・8月にどんな花木が魅力的なのか。それらが映える舞台は、どんな状況なのか。一年草では無く、自然の環境で見応